

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(R元年度:計画作成主体:花巻市農業推進協議会)(岩手県)

取組の概要

対象品目 : 水稻(産地面積 414.7ha)
 主な取組主体 : 農業法人9経営体
 成果目標 : 労働生産性の10%以上の増加
 基準(R元年度) 6,068円/hr
 目標(R3年度) 6,701円/hr
 導入施設等 : 生産支援事業
 (スマート農業機械のリース:
 ドローン、収量コンバイン、
 直進操舵田植機及びロボット
 トラクター等)



岩手県
 花巻市
 花巻地区
 湯口地区
 湯本地区
 太田地区
 新堀地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

花巻市の農業は、水稻を中心とした小麦や大豆の土地利用型作物が作付の大半を占めている。販売農家数は年々減少傾向にあり、後継者の育成や新規就農者の確保が課題となっている。

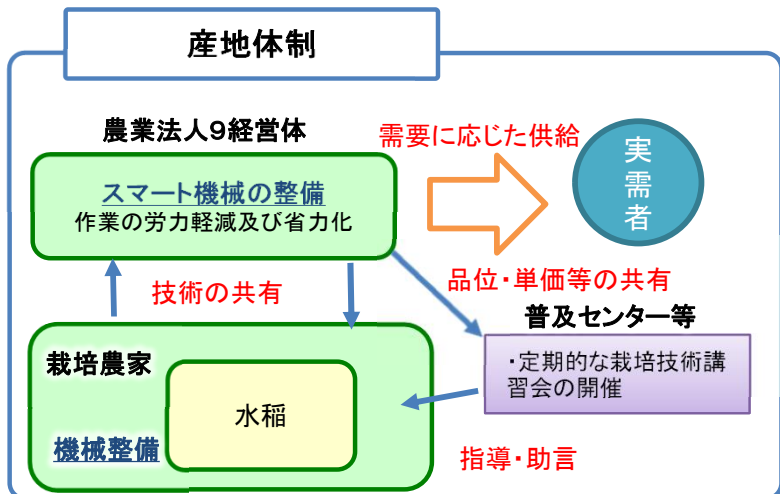
このような中、本市では、農業従事者の高齢化や労働力不足に対応するため、スマート農業の推進を他の地域に先駆けて積極的に取り組んでおり、RTK-GPS基地局を市独自に設置するなど、精度の高いスマート農業技術の活用が可能な環境整備を行ってきた。大幅な労力軽減や省力化が期待できるスマート農業の推進により、労働生産性の向上を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

担い手が労力軽減や省力化を図るために必要な機械リースの導入支援

産地体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ・定期的な栽培技術講習会の開催
- ・市単独事業により、スマート農業機械購入、ドローン免許取得費の助成

取組成果

【事業実施による直接効果】

スマート農業機械の導入による労働生産性の向上

【事業実施による間接効果】

周辺生産者のスマート農業に対する理解醸成



【ロボットトラクター】

**労働生産性が28%向上
 (達成率 268%)**

「目標年の実績は価格補正後の実績」

